

Q： どのような指導者に臨床研究の相談をしたら良いのでしょうか？

A： 論文を多く書いている先輩に相談しましょう。

- 日常臨床は多忙で臨床研究を行なっている時間がありません。そのような状況下でも多くの論文を執筆している先輩、上司が必ずいると思います。臨床だけで論文を書かない先輩、上司には相談しても混乱するだけです。
- 論文を書く理由は様々です。純粋に自らの臨床上の疑問を解決するためだけでなく、自身のキャリアを上げたいため、専門医の資格を取るため、上司に命令されてなどがあります。
- 誰もが最初から全て自分一人で臨床研究を行う訳ではありません。苦勞して初めて医学雑誌に自分の論文が掲載されることは無常の喜びです。この喜びを何度も味わいたくて臨床研究を続けている指導者が最も理想的です。
- 臨床研究は後向き・前向き研究など形態は様々です。前向き介入研究の研究論文を書いている先輩、上司なら信頼して良いでしょう。
- さらに
 - 生物統計の知識
 - 英語力があれば無敵です。
 - 忍耐力こればかりは実際に指導を受けてみなければ分かりませんが。
 - 指導の手に余るようなら他の指導者を探してくれる先輩は神様です。
- 教授、部長
 - 多くの責任者は多忙で直接指導を受けられないかも知れません。
 - それでも相談するのであれば最も経験値の高い教授、部長に相談して下さい。